

1. 事業主題：自然科学、人文科学、社会科学等の各領域にまたがる教科横断的で探究的な学びの教育課程研究開発

2. 事業概要：総合的な探究の時間の充実や、教科横断的で探究的な学びを核とした教育課程編成等の研究開発を行う。

本校教育活動のイメージ【授業・体験活動・探究活動×KSH事業の相乗効果】

教育の3観点と本校が育成を目指す9つの資質・能力

【知識・技能】 実際の社会や生活で生きて働く力 【1】肯定力 【2】挑戦力 【3】探究力
 【思考力・判断力・表現力等】 未知の状況にも対応できる力 【4】想像力 【5】持続力 【6】協働力
 【学びに向かう力・人間性等】 学んだことを人生や社会に生かす力 【7】貢献力 【8】突破力 【9】創造力

検証・評価の指標

- 1 生徒の進路実績
- 2 ルーブリック自己評価
- 3 学校評価アンケート
- 4 外部発表会の成果

①授業【総合知の獲得】

『生徒のニーズに合わせた教科横断的指導』

②様々な体験活動

『校外で本物に触れる体験を』

③総合的な探究の時間【総合知の活用】

『若駒未来プロジェクト（WMP）』

KSH（熊本スーパーハイスクール）事業

『校外で本物に触れる体験を』

教科横断的で探究的な学びを核とした教育課程の開発

校訓と育成を目指す生徒像

- ①「至誠」◆ものごとを「肯定」的に捉え、よりよい世界のあり方を「想像」しながら、その実現に向けて「貢献」しようとする【誠実さ】を備えた生徒
- ②「剛健」◆「挑戦」することを恐れず、試行錯誤ながらも取組を「継続」し、限界「突破」に向けて最後までやり抜こうとする【たくましさ】を備えた生徒
- ③「進取」◆ものごとの本質を「探究」するために、他者と「協働」しながら課題に取り組み、新たな価値を「創造」しようとする【先進性】を備えた生徒

3. 事業内容（今年度KSH関連事業の取り組み紹介）

①授業×KSH

9つの資質能力ルーブリック作成
 本校が育成を目指す資質・能力を整理しルーブリックを作成！

【ルーブリック】
 玉名高校生に身につけてほしい9つの資質・能力
 ～校訓「至誠・剛健・進取」を体得した生徒（誠実さがしっかりと発揮できる）を！

【1】肯定力	【2】挑戦力	【3】探究力
① 物事や人に対して肯定的な見方をする。 ② 物事や人に対して肯定的な言葉をかける。 ③ 物事や人に対して肯定的な態度を示す。	① 物事や人に対して積極的に挑戦する。 ② 物事や人に対して積極的に挑戦する言葉をかける。 ③ 物事や人に対して積極的に挑戦する態度を示す。	① 物事や人に対して積極的に探究する。 ② 物事や人に対して積極的に探究する言葉をかける。 ③ 物事や人に対して積極的に探究する態度を示す。
【4】想像力	【5】持続力	【6】協働力
① 物事や人に対して積極的に想像する。 ② 物事や人に対して積極的に想像する言葉をかける。 ③ 物事や人に対して積極的に想像する態度を示す。	① 物事や人に対して積極的に持続する。 ② 物事や人に対して積極的に持続する言葉をかける。 ③ 物事や人に対して積極的に持続する態度を示す。	① 物事や人に対して積極的に協働する。 ② 物事や人に対して積極的に協働する言葉をかける。 ③ 物事や人に対して積極的に協働する態度を示す。

単元進行表の作成

教科横断的学びをよりスムーズにするための第1歩！

単元	単元名	単元目標	単元学習のねらい	単元学習の重点	単元学習の特色	単元学習の留意点	単元学習の到達目標
1	基礎的・基本的な知識・技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能を習得し、学習の土壌を築く。	基礎的・基本的な知識・技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能の習得
2	応用的・発展的な知識・技能の習得	応用的・発展的な知識・技能を習得し、学習の土壌を築く。	応用的・発展的な知識・技能の習得	応用的・発展的な知識・技能の習得	応用的・発展的な知識・技能の習得	応用的・発展的な知識・技能の習得	応用的・発展的な知識・技能の習得
3	総合的な探究の時間の活用	総合的な探究の時間を活用し、学習の土壌を築く。	総合的な探究の時間の活用	総合的な探究の時間の活用	総合的な探究の時間の活用	総合的な探究の時間の活用	総合的な探究の時間の活用

教科横断的授業の実施（地理×英語）

ALTがスコットランドの気候を英語で解説！



②様々な体験活動×KSH

異文化コミュニケーションワークショップ
 台湾茶を飲みながら、台湾とオンラインで交流活動を行いました！



「SIMULATION熊本2030」体験研修
 架空の都市の課題解決に取り組むシュミレーションゲームに挑戦！



「玉名をもっと知ろう！」講演会
 玉名市立歴史資料館と連携して玉名について学びました！



③総合的な探究の時間×KSH

校内発表会
 各自がそれぞれの研究テーマについて発表し、質疑を行いました！



北九州学術研究都市連携ワークショップ
 現地学生と研究施設を見学したり、課題研究への助言をいただいたりしました！



KSH生徒研究発表会参加
 課題研究の発表をとおして、他校の生徒たちと交流しました！



9つの資質能力ルーブリックの運用

全体：1学期

■レベル1 ■レベル2 ■レベル3 ■レベル4

生徒の変容を定点観測！

全体：2学期

■レベル1 ■レベル2 ■レベル3 ■レベル4

いくつかの項目で高まりが見られます！

